

# 日本漢方協会通信

28年 8月

## 漢方薬局製剤実習講座が開催されました!

28年7月17日(日) 10:00～17:00 於 慶応義塾大学・芝共立キャンパス(総勢120名)

### ■散剤：香蘇散

古典に忠実に散剤とすることで、水溶性・脂溶性・揮発性の生薬成分を余すところなく服用できます。



**1) 生薬の検査**  
原料生薬から、製剤に適さないヒゲ根、変色部位などを除去。



**2) 秤量・混合**  
各班、30日分の生薬を秤量、混合し、粉碎機へ移します。



**3) 粉碎**  
粉碎時の熱で生薬が変性しないように行います。



**4) 篩過(しか)**  
100メッシュの篩をほぼ全量通るまで篩過します。



**5) 混和**  
粗めの篩を通して各生薬を均一に混和し、再度秤量します。



**6) 分包**  
2gずつ取り分けてヒートシールし、重量確認します。

### ■茶剤：香蘇散料

剤形の異なる「香蘇散料」の製剤も実習し、製剤手順や服用感の違いを学びました。



**1) 秤量**  
1日分ごとに秤量します。散剤よりも必要生薬量が多いです。



**2) 分包**  
和紙袋へ移し、再度重量を確認後、ヒートシールで封じます。



**3) 文書等の整備**  
ラベル、添付文書、製造記録書をすみやかに作成します。

ホームページ上で詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。